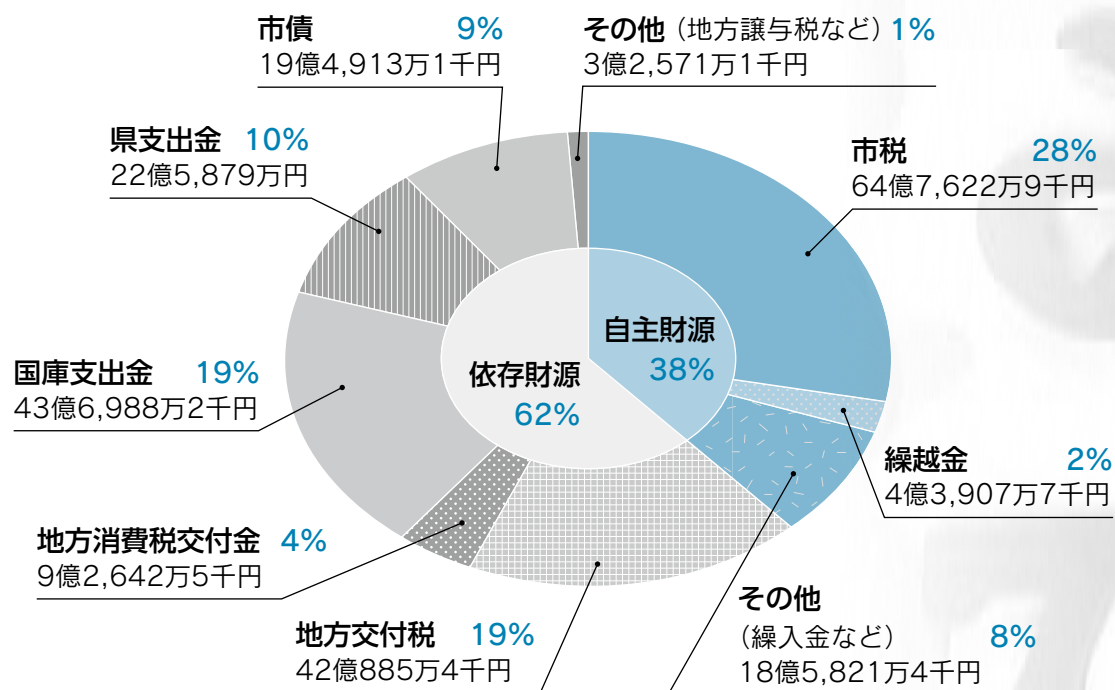


市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について平成28年度決算の概要を地方財政状況調査表（決算統計）に基づいてお知らせします。

決算統計は総務省の基準により決算を分析したものです。決算額は、熊本地震の影響が大きいため、歳入歳出ともに過去最高額となり基金（貯金）からの繰入れと起債（借金）の借入れが増えています。

なお、総合センターヴィーブルの災害復旧工事など平成28年度中に事業が完了せずに翌年度に繰り越した財源は今回の決算額には含まれていません。

一般会計の歳入 228億1,231万3千円



収入の状況

一般会計の歳入は228億1,231万3千円で、平成27年度に比べて29億9,504万円（15・1％）増えています。主な要因は、市税や地方交付税、国庫支出金、県支出金が増えたことによるものです。

市民の皆さんが納めた市税（市民税や固定資産税、軽自動車税など）は、平成28年度決算で歳入の約28％を占めています。平成27年度と比較して、金額で2億8,587万円増えました。

特別会計の実質収支額

	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	72億550万2千円	71億153万円	1億397万2千円
後期高齢者医療特別会計	5億1,011万4千円	5億879万1千円	132万3千円
介護保険特別会計	40億4,040万3千円	39億7,691万4千円	6,348万9千円

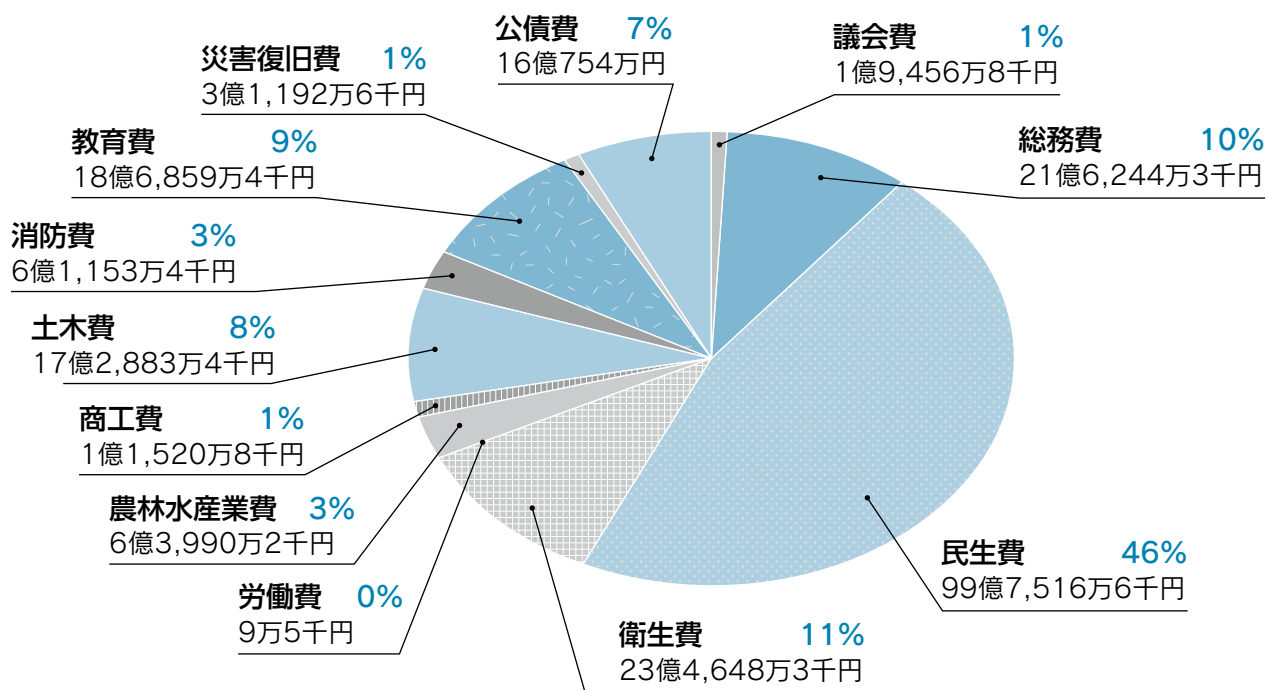
市の貯金と借金（平成28年度末）

（貯金） 財政調整基金 35億4,877万円
減債基金 5億3,922万8千円
特定目的基金 26億4,223万4千円
合 計 67億3,023万2千円市民1人当たり 110,292円

（借金） 地方債（一般会計） 168億9,956万5千円市民1人当たり 276,942円
地方債（企業会計） 280億8,009万5千円市民1人当たり 460,163円

※人口は平成29年3月末の人口（61,022人）で算出しています。

一般会計の歳出 215億6,229万3千円



支出の状況

一般会計の歳出は215億6,229万3千円で、平成27年度に比べて25億4,409万7千円（13・4％）増えています。市民一人当たり、35万3千円が支出されたこととなります。

歳出を目的別に見ると民生費が約46％、衛生費が約11％、総務費が約10％、教育費が約9％となっております。

性質別には、扶助費が約30％、人件費が約14％、繰出金が8％、普通建設事業費が約7％となっております。

一般会計の 決算状況・実質収支

実質収支額は9億1,180万8千円で、平成27年度に比べて2億69万4千円増えました。また、実質収支額のうち4億6,000万円は財政調整基金に積み立て、残りの4億5,180万8千円は平成29年度予算へ繰り越しました。

歳入総額
228億1,231万3千円

歳出総額
215億6,229万3千円

差引額
12億5,002万円

上記差引額
12億5,002万円

翌年度へ繰り越すべき財源※
3億3,821万2千円

実質収支額
9億1,180万8千円

※平成28年度に事業が完了せず、翌年度に繰り越す財源。